

【土砂災害防災訓練 水害避難訓練】実施

川路まちづくり委員会は6月27日^{*}を「川路水害予防の日」と制定し、三六災を忘れないようにしています。今年は、6月2日（日）の土砂災害・全国統一防災訓練に同期して水害避難訓練を実施しました。

今年は訓練の前に、各区で【各区防災マップ】を作成し全戸配布しました。土砂災害防止法によるレッドゾーン、イエローゾーン及び過去に発生した土砂災害情報をマップに落とし込んであります。それにより、適切な避難場所を確認できます。

近年の気候変動により新たな土砂災害の発生が心配されますので、都度マップに反映をして被害を最小にしたいですね。マップは作成して終わりではなく、常に改訂、新たな情報注入、情報を共有するツールとして利用しましょう！

※昭和36年6月27日は、飯田測候所において日雨量：325mmと測候所開設以来最多雨量を記録した日です

実施日：令和6年6月2日（日）

時間：8時～12時

参加者：川路住民 川路地区自主防災会（本部長、正・副部長、本部庶務、防災川路、水防組合、保健衛生班長、避難所設置班長、消防団、日赤奉仕団、各区自主防災正・副会長）



ようす：訓練の主ななげれ（ ）は今回実施しない

- 8時30分：大雨が降り続き天龍峡の水位 11.0m（氾濫注意水位）超え
→自主防災会集合 区長に状況伝達 →区長は区役員を招集
- 8時40分：天龍峡の水位 16.3m（氾濫危険水位）
- 9時00分：避難スイッチ ON 飯田市に「土砂災害警戒情報」発令
本部より区長にレッドゾーン対象者に避難指示連絡→区役員はレッドゾーン対象者に避難指示連絡（地区内各施設に避難指示を連絡、サロンあやめより避難者受け入れを想定）
- 9時30分：避難スイッチ ON 6時間後に天龍峡の水位が 20m を超える恐れとの連絡
- 9時35分：住民に避難指示を連絡 本部→区長→伍組長（率先安全避難者）（→各組合員）
- 9時45分：小河川が一斉に氾濫（久米川と弟川）の伝達→本部→区長（→伍組長）
- 9時50分：本部 各区避難所開設
- 10時～10時30分：避難状況の把握 本部へ報告 区内巡視 区民の安全確認 本部へ報告
- 10時30分：各区水害避難訓練終了報告
- その後、指定避難所である川路小学校へ本部役員、正副区長は移動して避難所のレイアウトを確認しました。そして、体育館横に設置された備品倉庫を確認しました。
- 12時00分：避難訓練終了

参考：
天龍峡の水位 17.8m
（氾濫する可能性のある水位）

避難場所である、川路小学校体育館で居住スペースを把握しようと三角コーンを置いて寸法測定をしました。必要スペースは4㎡/人、16㎡/4人家族とのことです。飯田市HPでは川路小学校体育館の想定収容人数は150名になっていますが、受付、運営本部、物資配布相談、情報交換スペース、通路等も必要とすると実際の収容可能人数は少なくなりそうです。

体育館に集まって、避難所レイアウトを検討したところ利用できそうなスペースを発見することができました。ステージ両脇のスペース、用具置き場、は更衣室等に使いそう！ごみ置き場は外へ設置しよう！

◆大勢の目で見ることにより避難所レイアウトはより具体的なものになりそうです。

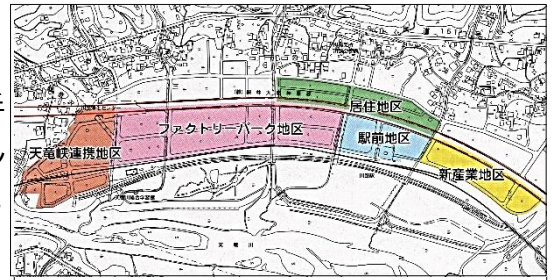
【天竜峡エコバレー企業懇談会】開催

かわじ土地管理組合（今村正大会長）は天竜峡エコバレー企業懇談会を実施しました。

まちづくり委員会と川路地区計画の見直しに着手したこと、川路地区の防災に関することを報告しました。そして、各企業・店舗の状況をお聞きしました。

と き：令和6年6月5日（水）14時～

場 所：川路公民館 大会議室



天竜峡エコバレーで川路地区計画対象の5地区



参加者(敬称略)

(株)ISK、(株)飯田パルスモ、(株)コバコン、(株)JMC、
合同会社 Store House、(株)ちさと東、丸治しもだいら、丸西石油(株)
(株)もりだくさん ヤマト運輸(株)飯田インター店、(株)LADVIC、
かわじ土地管理組合、川路まちづくり委員会、飯田市工業課
ご欠席：Kawaji キッチン、(株)丸中中根園

ようす：かわじ土地管理組合 林裕治 理事 から「かわじ土地管理組合の設立経過と理念について」説明がされました。

- ・平成13年にかわじ土地管理組合は組合員79名で設立 ➡ 土地の所有と使用を分離
- ・平成17年かわじパートナーシップ宣言（かわじ土地管理組合・立地企業・飯田市）を締結
- ・平成18年に川路地区計画（地区整備計画）を策定

まちづくり委員会 中島良彦 会長 から天竜川水系河川整備計画の変更案について天竜川上流河川事務所から説明を受けたこととそのポイントが報告されました。天竜峡で大事な事は、①阿知川合流点における浚渫を継続し、天竜峡の河床を下げる事 ②戸草ダム建設が必要であることを天竜川上流河川事務所に要望していると説明しました。

【リニア中央新幹線試験立ち合い（試乗）】参加

JR 東海から、山梨リニア実験線の超電導リニア時速500Kmでの高速試験走行立会案内があり、川路まちづくり委員会から7名が参加しました。

と き：令和6年6月12日（水）7時55分～

場 所：山梨実験センター（山梨県都留市小形山271）

参加者：中島良彦会長 小木曾みどり副会長 小林好雄副会長 塩澤明美会計
牧内恒良3区長 清水茂2区副区長 一ノ瀬勝敏6区副区長



ようす：送迎バスに乗り、途中で5地区（川路、竜丘、上郷、座光寺、鼎）が合流しました。山梨実験センターに到着すると、乗車前にセキュリティチェック（手荷物検査、ボディチェック、X線検査）とまるで飛行機に搭乗するような検査でした。

リニアの概要説明を受けた後、飛行機のボーディングブリッジ（搭乗橋）？のような通路を歩いて乗車しました。



リニア時速500Kmの感想：静かで想像以上に揺れが少なかったです。時速150Km位までは車輪走行で、それ以上は磁気浮上です。揺れも、騒音も磁気浮上の方が静かです。時速500Kmの確認は、車内の表示パネルの速度計です。SF映画のように景色は線になって流れていきます。走行区間42.8Kmを約20分で往復しました。

リニアの開通時期が約10年先に延びてしまい残念ですが、早期開通を願うばかりです。